

令和5年度
事業報告書

公益財団法人米沢上杉文化振興財団

目 次

(令和5年度事業報告書)

I 米沢市上杉博物館	・・・ 1ページ
1 上杉氏をはじめとする地域の歴史・文化の継承と地域の魅力の発信	
2 豊かな感性を育み郷土を愛する人材の育成	
II 置賜文化ホール	・・・ 10ページ
1 文化芸術活動の活性化と伝統芸能の継承	
III 米沢市座の文化伝承館	・・・ 12ページ
1 伝統文化活動の支援	
IV 市立米沢図書館	・・・ 13ページ
1 地域の情報拠点となる図書館づくり	
2 読書活動・生涯学習を支える図書館づくり	
3 こどもの未来を育む図書館づくり	
4 郷土資料を適切に保管し、次世代に伝える図書館づくり	
V よねざわ市民ギャラリー・まちなか駐車場	・・・ 21ページ
1 芸術・文化活動の活性化	
VI 連携と協働による事業の推進と適正な組織運営	・・・ 23ページ
1 市民や地域の力を繋ぎ活かした事業の推進	
2 公益財団法人としての適正な組織運営と安全安心で開かれた施設利用	

令和5年度事業報告

米沢市上杉博物館

1 上杉氏をはじめとする地域の歴史・文化の継承と地域の魅力の発信

(事業の方針)

- ・上杉家や米沢藩ゆかりの資料及び郷土作家作品等の収集と調査研究を体系的に進め、広く開かれた研究拠点施設を目指す
- ・地域の人々が郷土に誇りと愛着を持ち、地域の内外からの来館者の感動を呼ぶ魅力的な展示を行う
- ・文化財等の適正な保存・管理に努める

1-1 地域の資源等を活用した魅力的な展示による交流の促進

(1) 企画展示

① 特別展「上杉景勝と関ヶ原合戦」

会期：前期：4月22日(土)～5月21日(日)/後期：5月27日(土)～6月25日(日) [60日間]

入場者数：15,854人

【関連事業】

区分	演題等・期日	参加人数
講演会	演題：「豊臣期上杉家と京都・鳥羽・大阪」 講師：片桐昭彦氏（新潟大学人文学部准教授） 期日：5月20日(土)	92人
ギャラリートーク	期日：4月22日(土)、5月13日(土) 5月27日(土)、6月24日(土)	230人

【評価】(各項目4点満点)

協議会委員評価項目	評点	内部評価項目	評点
テーマの設定	4.0	内容(興味関心)	3.7
展示資料の点数・選定	3.3	ねらいが伝わる構成	3.1
解説のわかりやすさ	4.0	解説のわかりやすさ	3.3
会場設営(雰囲気づくり)	3.7	効果的な広報	3.4
総合評価	4.0	ショップ運営	3.5

② 企画展「今泉篤男と美術」

会期：7月8日(土)～8月20日(日) [43日間]

入場者数：2,692人

【関連事業】

区分	演題等・期日	参加人数
講演会	演題：「今泉篤男先生と父 法林の思い出」 講師：福王寺一彦氏（日本芸術院会員/日本美術院同人） 期日：7月15日(土)	40人
ギャラリートーク	期日：7月8日(土)	15人
ナイトツアー	テーマ：「ようこそ夜の博物館へ〈今泉篤男と美術〉をみる」 期日：7月28日(金)	10人

【評価】(各項目4点満点)

協議会委員評価項目	評点	内部評価項目	評点
テーマの設定	3.8	内容(興味関心)	2.5
展示資料の点数・選定	4.0	ねらいが伝わる構成	3.5
解説のわかりやすさ	3.7	解説のわかりやすさ	3.3
会場設営(雰囲気づくり)	4.0	効果的な広報	2.8
総合評価	4.0	ショップ運営	3.0

③ 特別展「上杉氏と国絵図の世界」

会期：前期：9月2日(土)～10月1日(日)/後期：10月7日(土)～11月5日(日) [58日間]

入場者数：12,714人

【関連事業】

区分	演題等・期日	参加人数
講演会	演題：「国絵図からみた江戸時代」 講師：杉本史子氏(東京大学史料編纂所教授) 期日：10月14日(土)	90人
ギャラリートーク	期日：9月2日(土)、9月16日(土) 10月7日(土)、10月21日(土)	約160人

【評価】(各項目4点満点)

協議会委員評価項目	評点	内部評価項目	評点
テーマの設定	3.8	内容(興味関心)	2.8
展示資料の点数・選定	3.4	ねらいが伝わる構成	3.1
解説のわかりやすさ	3.2	解説のわかりやすさ	3.0
会場設営(雰囲気づくり)	3.4	効果的な広報	3.0
総合評価	3.4	ショップ運営	3.4

④ 企画展「学んで、旅して、たのしむ浮世絵～広重美術館コレクション～」

会期：前期：11月11日(土)～12月10日(日)/後期：12月13日(水)～1月14日(日) [52日間]

入場者数：4,123人

【関連事業】

区分	期日	参加人数
オープニングゲストトーク 講師：梅澤美穂氏(広重美術館副館長・学芸員)	11月11日(土)	46人
ナイトツアー 「広重と歩く 東海道五十三次～ミラーバスミュージアムがやってくる！」	11月11日(土)	21人
ワークショップ 「浮世絵摺師に挑戦！」	11月19日(日)	20人 (見学者77人)
ギャラリートーク	12月16日(土)	41人

【評価】(各項目4点満点)

協議会委員評価項目	評点	内部評価項目	評点
テーマの設定	4.0	内容(興味関心)	3.5
展示資料の点数・選定	4.0	ねらいが伝わる構成	3.1
解説のわかりやすさ	4.0	解説のわかりやすさ	2.7
会場設営(雰囲気づくり)	4.0	効果的な広報	3.0
総合評価	4.0	ショップ運営	3.4

⑤ コレクション展「国宝「上杉家文書」の世界Ⅶ 戦国武将、手紙を書く」

会期：2月10日（土）～3月10日（日）〔26日間〕

入場者数：3,373人

【関連事業】

区分	期日	参加人数
ギャラリートーク	2月10日（土）、3月9日（土）	65人

【評価】（各項目4点満点）

協議会委員評価項目	評点	内部評価項目	評点
テーマの設定	3.6	内容（興味関心）	3.3
展示資料の点数・選定	3.8	ねらいが伝わる構成	3.1
解説のわかりやすさ	3.2	解説のわかりやすさ	2.3
会場設営（雰囲気づくり）	3.5	効果的な広報	2.7
総合評価	3.7	ショップ運営	3.0

(2) 常設展示

① 上杉文華館の展示

「上杉家歴代の文書管理と歴史編纂」を年間テーマに、国宝「上杉家文書」を読み解く展示を12本の小テーマで開催した（上杉家文書は約1ヶ月ごとに展示替）。

小テーマ	期 間	コレクショントーク
謙信関連文書の収集	3月28日（火）～4月25日（火）	4月 2日 参加者数20人
景勝に関する記録の編纂	4月26日（水）～5月23日（火）	5月12日 参加者数20人
定勝と軍事の先例	5月25日（木）～6月27日（火）	6月 4日 参加者数 8人
綱勝から綱憲へ	6月29日（木）～7月25日（火）	7月 2日 参加者数10人
吉憲～宗房と年譜編纂	7月27日（木）～8月22日（火）	8月 6日 参加者数25人
重定と先例	8月24日（木）～9月26日（火）	8月27日 参加者数15人
鷹山の改革と記録の活用	9月28日（木）～10月24日（火）	10月1日 参加者数13人
治広と寛政の改革	10月26日（木）～11月21日（火）	10月29日 参加者数15人
斉定による改革の継承	11月23日（木）～12月24日（日）	11月26日 参加者数15人
斉憲と幕末の動乱	12月26日（火）～1月28日（日）	1月 7日 参加者数20人
茂憲と戊辰戦争	1月30日（火）～2月25日（日）	2月 4日 参加者数23人
近代の文書管理と歴史編纂	2月27日（火）～3月24日（日）	3月 3日 参加者数12人

② 国宝「上杉本洛中洛外図屏風」（原本）の展示

期 間	展示場所	備 考
4月22日（土）～5月21日（日）	上杉文華館	特別展「上杉景勝と関ヶ原合戦」（前期）
10月7日（土）～11月5日（日）		特別展「上杉氏と国絵図の世界」（後期）

(3) 展示準備

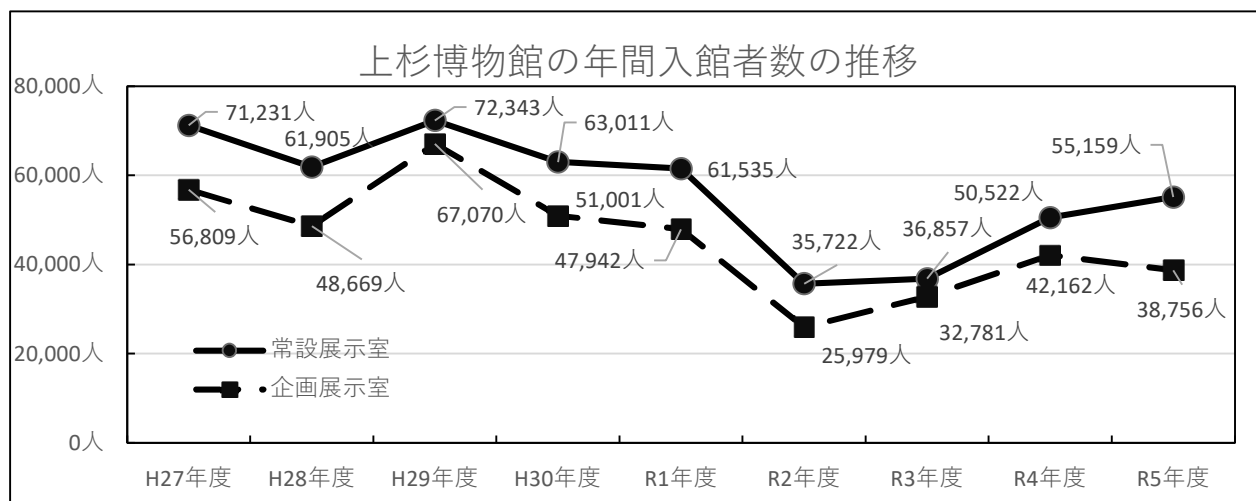
令和6年度以降の企画展の開催に向けた調査研究を進めた。

① 歴史関係

- ・令和6年度特別展「上杉茂憲」に関する調査
- ・令和6年度特別展「上杉氏と鷹と馬」に関する調査
- ・令和8年度特別展「学都 米沢」（仮称）に関する学校資料の調査 ほか

② 美術関係

・椿貞雄に関する準備調査 ほか



1-2 上杉氏をはじめとする地域の歴史・文化等の調査研究と資料の収集・保管・管理

(1) 資料収集、調査研究の実施と成果の公表

米沢市上杉博物館資料収集基本方針及び内規に基づき、収蔵資料の充実を図った。また、収集した資料の調査研究を計画的に進めた。

- ・資料収集検討会議 3回 ①8月17日(木) ②12月20日(水) ③3月27日(火)
- ・新規受入資料

区分	件数・点数	品目
購入	4件 4点	上杉定勝書状、三沢英伍「わたりがに」
寄贈	20件605点	椿貞雄「婦人像」、今泉篤男関連資料、目賀多家関連資料他
寄託	1件 1点	陣羽織

① 歴史関連資料の収集・調査

寄託資料の概要調査、収集資料の目録作成と、米沢藩及び上杉家ゆかりの資料をはじめとした郷土ゆかりの資料の追跡・発掘調査を充実させた。

調査研究の推進にあたっては、市民、地域の博物館、教育機関、大学、研究機関等との連携、交流を図りながら、情報の集積や人的ネットワークを構築することに努めた。

- ・展示予定資料の解読(令和6年度特別展「上杉茂憲」関係、国宝「上杉家文書」他)
- ・寄託資料概要調査及び受入済資料の整理、調査の充実
- ・資料収集に関わる個人所蔵資料等の新資料の調査
- ・上杉文書の調査・目録作成(継続)

② 美術関連資料の収集・調査

近親者の高齢化などにより急を要する郷土出身作家の基礎調査を継続した。現在活躍中の郷土出身作家についても情報を収集した。あわせて近年本年度以降に開催を計画している展覧会の出展予定資料の調査も行った。

③ 研究拠点機能の発揮

特別利用・掲載利用・資料貸与 条例等の基準に照らし、適正に許諾・貸出を行った。

特別利用	掲載利用	資料貸与	合計
22件	300件	13件	335件

(2) レファレンス対応

① 相談対応

収蔵資料、展覧会関連資料、置賜地域の歴史・芸術などにかかわる質問への回答を通して、市民の学習と活動の機会を提供した。

(レファレンス件数) 調査を必要とするもの 51件

② 情報ライブラリーの展開

収蔵図書や映像、デジタルコンテンツを配置・拡充して利用者に供するとともに、展示や館の活動に関する質問対応、地域学習の素材や方法論の提供等の参考業務を行った。

(3) 資料整理・管理

① 資料の整理・保管

計画的な資料の整理を行い、完了した情報は収蔵文化財総合データベースで公開した。未受入資料の受入作業(資料の受入有無確認、クリーニング、整理、登録、ラベリング収納)、新規受入資料のデジタル化(資料情報、写真)、収蔵資料の写真撮影等を進め、管理体制を整えた。

新規受入資料	12件(481点)
デジタル化	2件(100点)
写真撮影	3件(78点)

② 収蔵文化財総合データベースの充実

収蔵文化財総合データベース公開情報の充実を図るとともに、整理の完了した資料の情報をリスト化し、ホームページ上で段階的に公開した。

新規受入資料の登録	12件
新規受入資料のデジタル化	1件

※今年度は、主に情報システムの更新(米沢市教育委員会の事業)にあわせて新システムの構築に取り組んだため、総合データベースへの追加公開は行わなかった。

③ 資料の修理・手入れ

収蔵資料の点検・修理等を適切に実施した。

館蔵及び寄託刀剣については、定期的に手入れを実施した。

資料	修繕内容
A2013-008-01 刀 無銘(弥門直勝)	白鞘の割直し
短刀 無銘(伝瓜実安則)	刀身の砥ぎ

④ 収蔵・展示環境整備

IPM(総合有害生物管理)や空気環境の監視を継続した。また、設備・機器の更新やメンテナンスを計画的に進め、より良い博物館展示・保存環境の維持・保全に努めた。

項目	実施時期等
定期的な空気環境簡易調査(収蔵庫・展示室)粘着トラップの設置	4, 6, 8, 10, 12月
専門業者による空気環境調査(浮遊菌)	1回(10月19日)
資料の燻蒸	9月11日~13日
一般、特別収蔵庫・一時保管庫・写真室のクリーニング	月2回
エリア区分による段階的管理、防塵・防虫粘着マット設置(増設)、収蔵資料のコンディションチェック	常時
作品のクリーニング、展示ケース内アートソープ入替え	随時

2 豊かな感性を育み郷土を愛する人材の育成

(事業の方針)

- ・学校の学習活動の支援し、学社連携を推進する
- ・生涯学習施設であり地域の交流拠点として、上杉氏をはじめとする地域の歴史や文化芸術への理解を深めるとともに、日常的な地域学習の場となる多様なプログラムを用意し、地域の人々に学習と活動の機会を提供する

2-1 地域の生涯学習及び学校教育における学習活動の支援

(1) 教育事業

地域の歴史・文化や民俗・風習、美術・工芸、伝統的な手わざの理解と継承・普及のための体験プログラムを提供した。歴史や美術の体験学習を通して子どもの個性や地域の文化を尊重し合う意識を育て、「生きる力」や「想像力」を育む事業を展開した。

① 常設プレイショップの展開

季節企画では季節の風物を置賜の民俗風習と絡めながら紹介した。造形体験では、さまざまな素材や技法に触れることのできる幅広いプログラムを提供した。

季節企画	造形体験プログラム	期 間	参加人数
日本の伝統色①	キコキコスクラッチ	～4月26日(水)	618人
端午の節句	ホログラムシートで宇宙をつくろう	4月28日(金) ～5月23日(火)	543人
日本の伝統色②	紙粘土で夏の和菓子	5月26日(金) ～6月21日(水)	449人
七夕	切り絵のステンドグラス	6月23日(金) ～7月25日(火)	524人
盂蘭盆会	マーブリングに挑戦	7月28日(金) ～8月22日(火)	737人
重陽の節句	折ってぼたぼた紙のおりぞめ	8月25日(金) ～9月26日(火)	687人
お月見	日本画に挑戦！洛中洛外図名場面	9月29日(金) ～10月24日(火)	485人
七五三	すてきな型絵染	10月27日(金) ～11月23日(木祝)	521人
冬至・お年とり	紙の獅子舞づくり	11月25日(土) ～12月21日(木)	344人
お正月・小正月 ※郷土玩具と干支の展示	ハニカムペーパーでつくろう	1月2日(火祝) ～1月24日(水)	434人
節分	紙で作るおひなさま	1月26日(金) ～2月21日(水)	403人
桃の節句・雛人形 ※ひな人形展示	スパッタリング	2月23日(金祝) ～3月27日(水)	449人
その他体験学習室の利用			1,606人
合 計			7,800人

② ワークショップの開催

五感や身体感覚を使ったプログラムや博物館の特徴を活かしたプログラムの開発と展開を行った。

ア 募集制プログラム

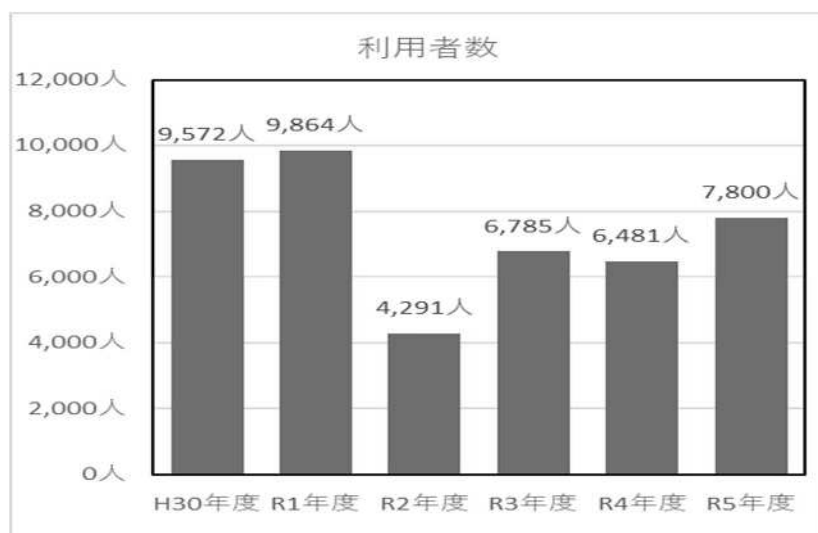
区分	企画	期日	対象	参加人数
手とこころで感じよう！	色とあそぼう	5月28日(日)	未就学児	6人
	初夏のカラーハンティング	6月11日(日)	小学生以上	6人
	墨染の美～不思議な墨の世界～	6月25日(日)	小学生以上	11人
	植物で布を染めよう	7月22日(土)	小学生以上	10人
	自分だけの松林図屏風をつくろう(東京国立博物館文化財活用センターアウトリーチ)	7月30日(日)	小中学生・親子	5人
	紅花で染める～花の色の不思議と歴史～	8月6日(日)	小学生以上	13人
	浮世絵摺師に挑戦！	11月19日(日) (2回開催)	小学生以上	20人
	レジンの銀河と惑星	2月17日(土)	小学生以上	12人
鑑賞の時間(とき)ナイト ツアーようこそ夜の博物館へ	「今泉篤男と美術」を見る	7月28日(金)	どなたでも	10人
	洛中洛外図の世界へ	10月20日(金)	どなたでも	11人
	広重と歩く東海道五十三次	11月24日(金)	どなたでも	21人
体感ミュージアム～博物館のすべて～	きみもチルドレンキュレーターズ～学芸員になろう19～	年間12回	小学4年生～高校生	72人
	だれもしらない博物館～博物館バックヤードツアー～	11月3日(金祝)	どなたでも	7人
合計				204人

アウトリーチ(学校、幼稚園・保育園・学童保育・コミセンやPTA親子事業等への出前ワークショップ)

イ 自由参加制プログラム

企画	期日	参加人数
むかしむかしを聞こう 語り：米沢とんとむかしの会(伝国の杜事業協力者)	7月23日(日)	33人

体験学習室(プレイショップ)利用者数の推移



(2) 普及事業

① 図録等の出版

令和4年度 博物館年報	Vol. 35 (10月)
伝国の杜だより	Vol. 43 (4月) Vol. 44 (9月)
展覧会図録	特別展「上杉景勝と関ヶ原合戦」 企画展「今泉篤男と美術」 特別展「上杉氏と国絵図の世界」 企画展「学んで・旅して・たのしむ浮世絵 広重美術館コレクション」製作協力
教育普及事業ミュゼデュウだより	年間スケジュール号(4月) 秋冬号(9月)

② 情報ライブラリーの更新

常設展、企画展を補完する米沢の歴史・民俗・文化等の映像ソフトを制作し、情報ライブラリー「おきたまたまてばこ」での提供を行った。

(新規映像の制作) 「上杉氏と国絵図の世界」

(3) 講演会・トークイベント(ギャラリートーク・コレクショントーク)

企画展・特別展に併せて講演会やシンポジウムのほか、展示内容等の解説を開催した。(別掲)

(4) 地域・学校との連携の推進

① 学校の利用促進

ミュージアムスクールや出前授業等により、博物館を活用した学習機会の提供と支援を行った。

ミュージアムスクール	減免を伴う置賜地域の学校利用 21件 人数1,546人 ※学芸員が参加したミュージアムスクール なし
出前授業	小学校6校 中学校1校 高校0校 合計394人
その他の連携・支援事業	米沢市小学校教育研究会図画工作部会 38人 山形県高等学校教育研究会図書館部会置賜支部司書専門部会13人

② 博物館実習、職業体験の受け入れ

博物館実習やインターンシップなどの職業体験で生徒、学生の受け入れを行い、博物館の仕事や役割を体感してもらうことで、博物館の社会的役割の理解者を増やし、未来の来館者へとつなげた。

博物館実習	3人(米短、芸工大)
YCW	6人(一中、二中、四中)

③ 児童・生徒の利用促進

・小中学生の入館料を無料とした展示の開催 「上杉景勝と関ヶ原」展 入館者数1,606人

2-2 芸術・文化活動の創造・支援

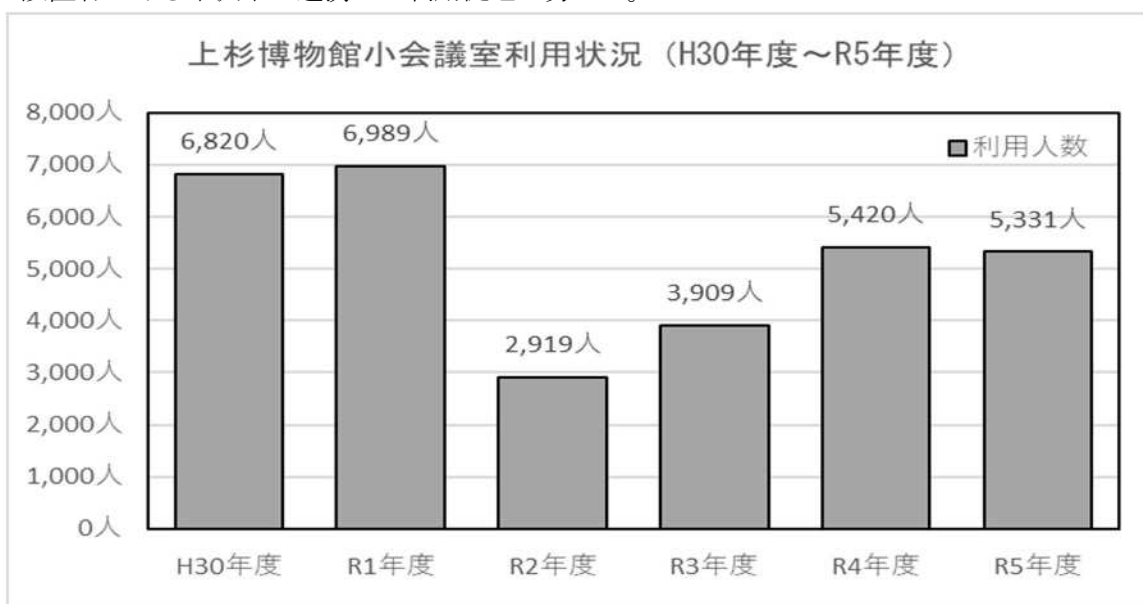
(1) 美術作品等の貸出

年に数回収蔵の美術作品を市内の学校や公共施設に貸し出し、博物館以外で市民が実物資料に触れる心豊かな文化体験の機会をつくった。

4箇所(市役所、市内学校(上郷小、松川小、興譲小)) 10点

(2) 貸館事業（米沢市上杉博物館会議室・収益等事業2）

設置者である米沢市と連携して利用促進に努めた。



置賜文化ホール

1 文化芸術活動の活性化と伝統芸能の継承

(事業の方針)

- ・様々な舞台芸術に親しむ機会が増え、地域の人々が潤いとゆとりを感じて心豊かに暮らせるよう、ホールの特性を活かした公演等を実施する
- ・多様な活動主体による芸術活動が盛んになり、地域の文化・芸術活動の活性化が図られるよう、施設の利用促進を図る
- ・地域の伝統芸能への理解を深め、伝統文化を継承する

1-1 優れた作品や舞台芸術に親しむ機会の提供

(1) 米沢市共催事業

良質で低廉な有料公演を開催するとともに、市民の文化活動を支援し、米沢市を中心とする地域住民の文化的水準の向上に資する事業を米沢市の負担金により実施した。

公 演	期 日	入場者数
劇場版「まんが日本昔ばなし」	7月29日(土)	120人
吹奏楽の日コンサート2023	10月8日(日)	1,450人
シェイクスピアの春夏秋冬	10月28日(土)	91人
山形交響楽団ユアタウンコンサート米沢公演	1月8日(月祝)	491人
東儀秀樹コンサート	3月3日(日)	488人

(2) 山形県補助事業

山形県からの補助金により公演を実施した。置賜地域の文化拠点施設として、アマチュア活動団体等に活躍・研鑽の場を提供することにより、地域の文化向上とホールの賑わい創出を図った。

公 演	期 日	入場者数
PRO WiND 023 ブラボー!吹奏楽アンサンブル	9月3日(日)	228人
楽器クリニック(指導演奏家の派遣)	通年開催62回	12人
楽器クリニックコンサート(成果発表会)	3月24日(日)	81人

(3) その他事業

文化団体等と連携し、他分野で様々な舞台芸術に親しむ機会を提供した。

公 演	期 日	入場者数
わらび座ミュージカル「いつだって青空～ブルマー先生の夢～」	6月27日(火)	142人
宝くじ文化公演「吉田正記念オーケストラコンサート」	9月30日(土)	499人
落語芸術公演	—	—

1-2 能舞台を活用した伝統芸能の継承・普及

移動式能舞台を活かして利用者が能楽に触れる機会を提供し、伝統芸能の普及に努める。

(1) 山形県補助事業(能関連事業)

公 演・事 業	期 日	入場者数
令和5年度能楽の祭典	9月10日(日)	129人
金剛流能公演～羽衣伝説～	3月20日(水祝)	225人

(2) こども狂言クラブ運営事業

項目	期 日	入場者数
稽古会（狂言指導者の派遣）	通年開催14回	7人
こども狂言クラブ春休み発表会	3月30日（土）	80人

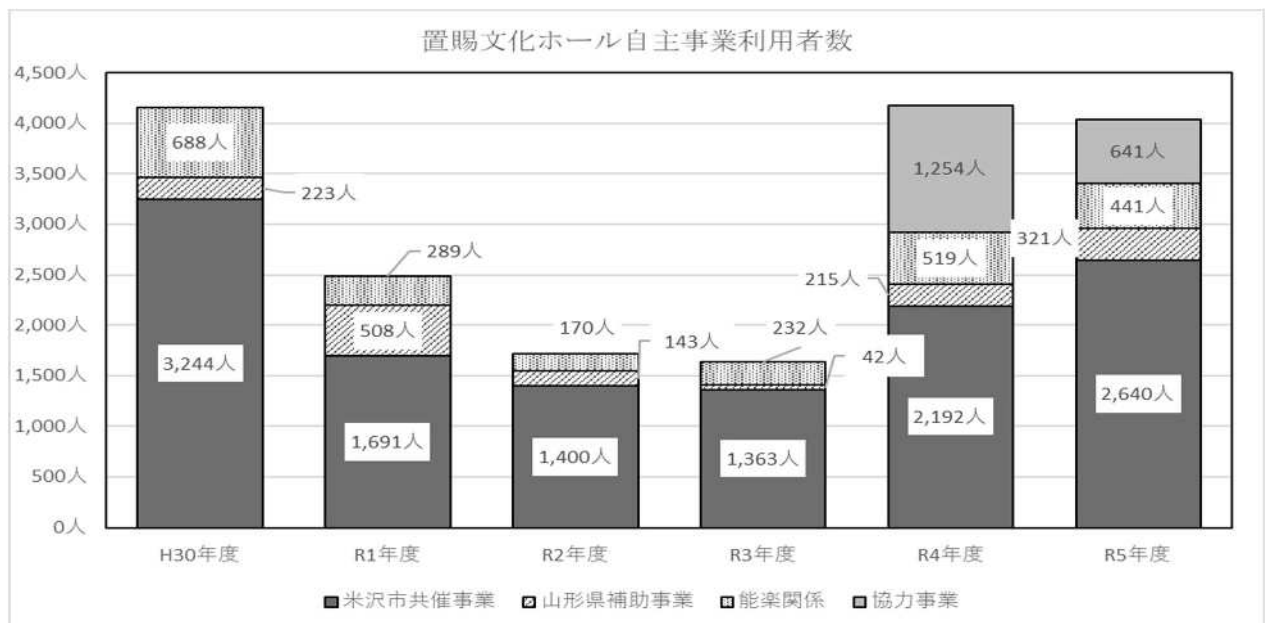
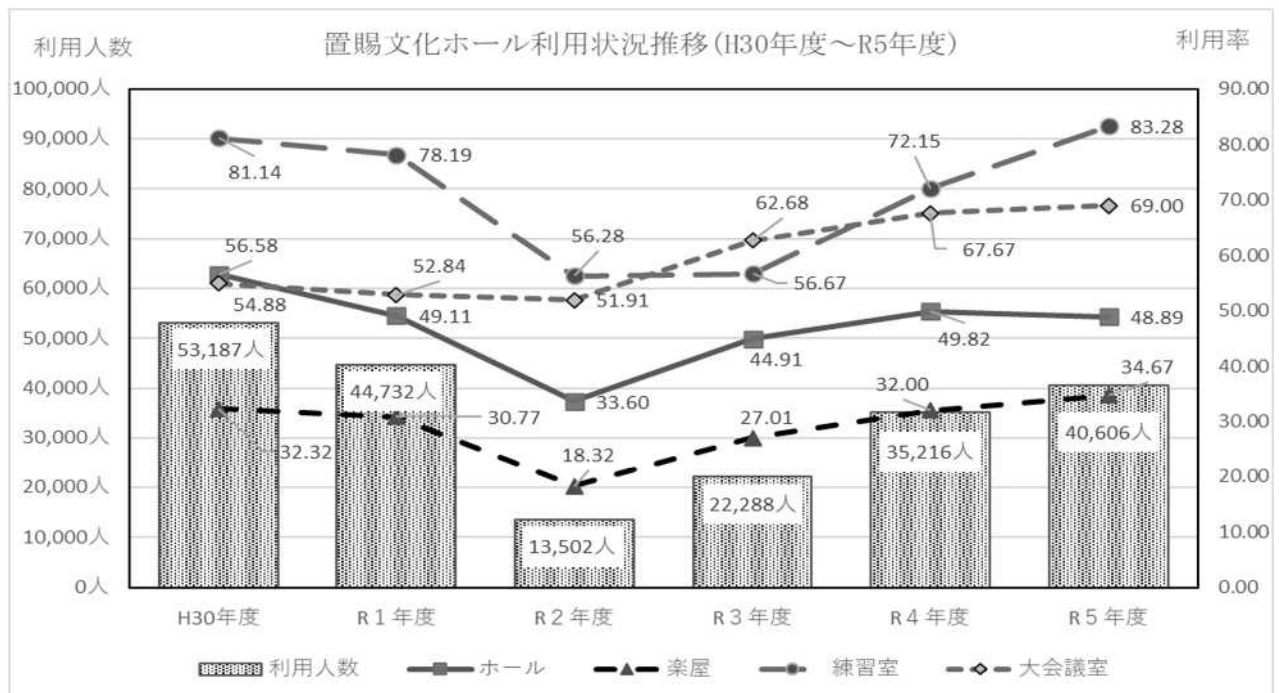
- ・催事出演 6回（上杉まつり「さつきに舞う会」、能楽の祭典、国際キャンプ in 米沢、置賜こども芸術祭（舞台芸術部門）、上杉雪灯籠まつり「雪に舞う集い」、金剛流能公演）

1-3 施設利用の促進

(1) 貸館事業

設置者である山形県や指定管理者の米沢市と連携して利用促進に努めた。

前売券販売提携件数 6件 販売枚数 84枚（有料券のみ）



米沢市座の文化伝承館

1 伝統文化活動の支援

(事業の方針)

- ・ 地域の人々等が伝統文化を気軽に体験できる機会を提供し、次世代への継承と普及を図る

1-1 伝統文化の普及促進

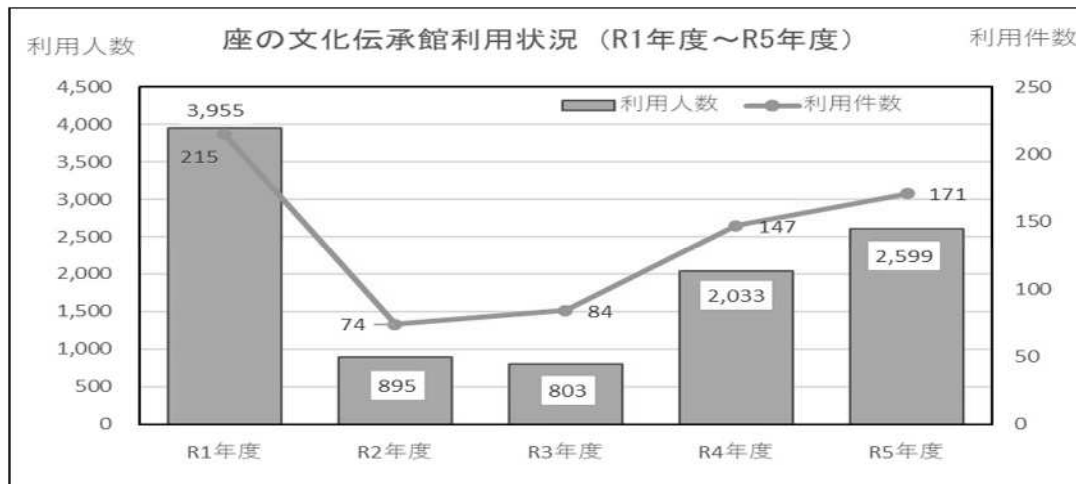
(1) 自主事業

本格的な数寄屋づくりの茶室を活かし、米沢茶道連合会と連携して日本文化のひとつである茶道に気軽に親しむことのできる機会を提供することで茶道の普及を図った。

企 画	期 日	入場者数
第31回市民茶会～夏を愉しむ～	6月18日(日)	169人

(2) 貸館事業

市民が自主的に伝統的な文化活動を推進しその伝承を図ることを目的に、和室の機能を活かした「座って行う日本文化」の一つの活動拠点として施設を貸与し、地域の芸術文化の振興に寄与した。



1-2 歴史・芸術・文化の情報発信

(1) 自主事業 (展示)

地域の歴史・文化を紹介する展示を実施した。

展 覧 会	期 間	入場者数
触って楽しむ 国絵図の世界	9月13日(水)～9月25日(月) [開催日数: 12日]	206人

市立米沢図書館

1 地域の情報拠点となる図書館づくり

(事業の方針)

- ・地域の情報拠点としての機能の充実を図り、市民等の多様なニーズに対応する資料及び情報の収集・整理・保存・提供を通して課題解決を支援する

1-1 資料や情報の収集・整理・保存

(1) 資料や情報の収集

市立米沢図書館資料収集方針や選定基準、受入基準等に基づき、図書館資料の充実を図る。購入、寄贈及び寄託については、基準に則って良質な図書館資料の選書・選定に努めた。

- ・新規受入資料 9,901点 (新規購入9,295点 寄贈受入資料606点)
- ・選書会議を月1回休館日に開催

(2) 図書資料の適正な管理

① 排架と整理

1点ごとの資料データを集積し適正な排架に努め、資料が適切な状態で貸出を行えるよう、点検・修理等と随時整理を行った。

② 蔵書点検

誤排架を正し、不明資料の所在や現況を調査し、適切な資料管理を行う。

区分	期間	実施結果
本館	2月1日(木)～2月7日(水)	不明本7冊
BM	10月16日(月)～10月17日(火)	不明本0冊

③ 除籍

利用価値の喪失や亡失、汚破損、重複等で不用となった資料の除籍と廃棄を実施し、常に新鮮かつ適正な蔵書の構成を維持した。

区分		点数・対象期間
図書、雑誌、AV資料		11,375点
新聞	河北新報	令和2年4月1日～令和3年3月31日分
	毎日新聞、読売新聞、産経新聞、日経新聞、毎日小学生新聞	令和3年4月1日～令和4年3月31日分
	スポーツ報知、日刊スポーツ	令和4年4月1日～令和5年3月31日分

(3) 利用者のニーズに対応したサービスの実施

① 貸出・閲覧

本館での貸出や閲覧の他、自動車文庫車「アタゴオル」で月に70箇所程市内の公共施設、教育施設、福祉施設等を巡回して貸出を行い、広く市民へ図書館サービスを提供した。

区分	冊数
図書貸出	356,883冊
アタゴオル貸出(配本所数69箇所)	31,763冊
相互貸借利用件数	貸出 447冊 借受 381冊

- ・アタゴオルの利用促進・PR活動(市役所での配本他)

② 予約・リクエストへの対応

所蔵資料の予約サービスによる貸出のほか、未所蔵の資料へのリクエストには、購入するほか相互貸借制度を活用して他館から借用するなど、利用者の要望に応じて資料を提供した。

・件数 23,560件（予約件数22,522件 リクエスト件数1,038件）

③ 複写

著作権法の範囲内での資料の複写サービスを行った。

・複写件数9,326件（うち郷土資料 郵送複写 28件1,914枚、マイクロ複写 39件916枚）

④ 特別利用・掲載許可・撮影

条例等の基準に照らし、適正に許諾・貸出を行った。

区分	件数・点数
古文書・古典籍の閲覧	46件 12,157点
古文書・古典籍の撮影	41件 12,018点
古文書・古典籍の貸出	2件 30点
その他の特別利用（禁帯本等）	0件
資料の掲載及び写真貸与	19件 32点

(4) 情報サービスの提供

① レファレンス

利用者の調査相談に、収蔵資料、インターネット情報等を用いて対応し、必要情報や資料の検索、提供を行った。また、収蔵資料や展示資料等についての質問にも答え、特に郷土米沢に関する質問については特設のレファレンスカウンター（郷土資料調査相談）にて対応した。

区分	件数
一般（カウンター対応）	102件
郷土資料（調査を要する依頼）	69件

② データベース

新聞記事・経済情報・法律情報等に関する有料データベースのほか、国立国会図書館の「図書館向けデジタル化資料送信サービス」機能を提供し、利用者の調査研究や課題解決をサポートした。

③ コーナー展開

利用者の生活に資する情報が掲載された資料を取り上げ紹介した。

・暮らしに役立つ情報コーナー（他機関と連携し1階で展示）

内容	期間
米沢市健康課 食育に関する展示	6月1日(木)～6月30日(金)
JICA海外協力隊活動写真展示	10月5日(木)～11月16日(木)
山形地方法務局米沢支局 相続登記申請義務化・自筆証書遺言書保管制度に関する展示	11月25日(土)～12月27日(水)

(5) 情報の発信

① 出版

図書館だより（年間4回）	4月、7月、10月、1月
市立米沢図書館概要	10月発行

2 読書活動・生涯学習を支える図書館づくり

(事業の方針)

- ・読書の楽しみを広げる活動を推進するとともに、社会教育施設として市民の生涯学習を支援し、交流活動の機会を提供する

2-1 図書館資料を活用した講座等の開催

郷土資料や歴史に関する講座を開催した。

【第38回 ふるさと歴史講座】

演題	講師	期日	受講人数
米沢城御三階の写真を撮影したバビエル氏	青木昭博 (副館長)	10月8日 (日)	17人
米沢有為会と育英事業	布施賢治氏 (米沢女子短期大学教授)	10月22日 (日)	10人
米沢藩の国絵図作成と岩瀬家文書	池野理 (米沢市上杉博物館学芸員)	10月28日 (土)	10人

【第34回 文学講座】

演題	講師	期日	受講人数
連歌を楽しむ	高野譲氏 (みちのく連歌会会長)	11月19日 (日)	16人
上杉家中の和漢聯句と連歌	川崎美穂氏 (愛知教育大学助教)	11月25日 (土)	16人
新発見の直江兼統の両吟連歌と和漢聯句	川崎美穂氏 (愛知教育大学助教)	11月26日 (日)	16人

【第67回 古文書解読講座】

演題	講師	期日	受講人数
御馬廻三十人頭のお仕事 ―組願之留を読む―	青木昭博 (副館長)	2月11日 (日祝)	26人
上杉勝応宛書状を中心に読む	宮澤崇士 (郷土資料担当学芸員)	2月18日 (日)	16人
戦国武将、手紙を書く ―国宝『上杉家文書』から―	阿部哲人 (米沢市上杉博物館学芸員)	2月25日 (日)	16人

2-2 読書を推進する活動

① 特集コーナー (一般資料・児童資料) の設置

季節行事や社会情勢に関するテーマの資料、先人顕彰コーナーの展示、米沢市上杉博物館や置賜文化ホールの事業等と連携した内容の資料を取り上げ紹介することで、図書館利用者へ新たな気づきを促し、資料の貸出増加へ繋げた。

- ・一般書コーナー 41回 児童書コーナー 29回

② 2023読書週間図書館フェアの開催

開催期間：10月27日 (金)～11月5日 (日)

企画	期日・期間	参加者数等
海外協力隊活動報告会×読書会 ～読書を通して世界とつながる～	10月29日 (日)	第1部 12人 第2部 3人

ナイトバックヤードツアー	11月3日(金祝)	12人
ワークショップ「本のフィルムコート体験」	11月4日(土)	11人
本と雑誌のリサイクル市		利用者390人
本と雑誌の付録抽選会		応募者174人
特集コーナー「ナセBA 覆面BOOKS」	10月27日(金) ～11月23日(木祝)	貸出数143冊
図書館×謎解きラリー	10月27日(金) ～11月23日(木祝)	参加者98人

2-3 交流活動の提供

英語多読の手法を身に着ける「英語多読講座」や、参加者同士が互いに本について語り合い交流する「英語多読サロン」、「読書会」など、利用者が一層本に親しみ、本を介して交流することができる場を提供した。

【ナセBA英語多読】

区 分		期日・講師	参加者数
英語多読サロン		各月第4土曜日(9回)	延べ58人
英語多読講座	「英語絵本よみきかせワークショップ」	期日：令和5年6月25日(日) 講師：荻野藍氏(NPO多言語多読理事)	15人
	「多読から会話へ」	期日：令和6年1月27日(土) 講師：酒井邦秀氏(NPO多言語多読理事)	29人

【読書会】

内 容		期 日	参加者数
第11回	『上杉鷹山「富国安民」の政治』(小関悠一郎著・岩波新書)を読んで	8月16日(水) 23日(水)	8人
第12回	読書を通して世界とつながる	10月29日(日)	3人
第13回	林明子さんの絵本を読む・語る	3月17日(日)	3人

2-4 ユニバーサルサービスの向上

① 自動車文庫(再掲)

自動車文庫車「アタゴオル」で市内の公共施設、教育施設、福祉施設等を巡回し資料の貸出や返却を行うことで、広く市民へ図書館のサービスを提供した。

配本箇所	69箇所(新規3箇所、廃止3箇所)
貸出冊数	31,763冊

② ハンディキャップサービス

高齢者や障がい者を主な利用対象とした大活字本やLLブック等の資料の収集を行うとともに、適切な館内環境の整備を行い、誰もが快適に利用できる環境を整えた。

- ・大活字本の新規排架 58冊
- ・「りんごの棚」(バリアフリーに配慮した図書)の設置
- ・拡大読書器の配置(寄贈) 1台

3 こどもの未来を育む図書館づくり

(事業の方針)

- ・米沢市子ども読書活動推進計画(第2期)に基づき、社会の未来を担う子どもたちの読書活動を関係機関と連携して積極的に推進する

3-1 子どもの読書活動推進

「ブックスタート」や「おはなしかい」を通して乳幼児期から本に親しむ機会を提供するほか、市内小学校図書館部会や市内各種団体等と連携して「ナセBAうちどくスタンプラリー」を実施し、子どもの図書館の利用促進を図った。

(1) 読書活動推進事業

区分	主な対象	実施者	会場	回数	参加者数
ブックスタート	7か月児と保護者	職員	7か月児健康教室	19回	親子411組
おはなしかい	乳幼児～小学生と保護者等	職員、サポーター、サークル夢空間	おはなしのへや、こどもフロア等	32回	436人
出張おはなしかい		職員	もくいくひろば、くても	6回 ※10月開始	—

- ・小学校巡回文庫

(配本)	(回収)	配本箇所	配本冊数
4月19日(水)・20日(木) 9月6日(水)・7日(木) 11月29日(水)・30日(木)	7月12日(水)・13日(木) 11月8日(水)・9日(木) 3月7日(水)・8日(木)	市内小学校 14校	延べ 6,525冊

- ・アタゴオルによる絵本読み聞かせ(イベントへのアタゴオルの参加・展示と貸出)

イベント	会場	期日	見学人数	備考
親子de funfun フェスタ	上郷コミセン	7月2日(日)	118人	
わっさまるしえ	ナセBA周辺	7月8日(土)	25人	おはなしかい実施
わっさまるしえ	旧三沢東部小	9月9日(土)	108人	おはなしかい実施
学童まつり	万世コミセン	10月1日(日)	172人	

- ・2023夏休み子ども図書館フェア

開催期間：7月28日(金)～8月13日(日)

企画	期日・期間	参加者数等
読み聞かせボランティア団体「サークル夢空間」のおはなしかい	7月29日(土)	24人
図書館貸し切り！バックヤードツアー&ゆったり読書 *サポーター協働	7月31日(月)	25人
GO!GO!アタゴオル (①東部コミセン ②塩井コミセン)	①8月1日(月) ②8月3日(木)	① 3人 ② 22人
図書館のおしごとを体験してみよう！ 司書体験・おはなしかい編	8月5日(土)	4人
ぬいぐるみのおとまりかい *サポーター協働	8月6日(日)	おはなしかい参加者37人
本のお楽しみ袋～どんな本が入っているのかな？～	7月28日(金) ～8月13日(日)	本館356冊 BM110冊
なにを読もうかな？図書館オリジナルガチャガチャ	7月28日(金) ～8月13日(日)	景品675個

- ・令和5年度 米沢市小中学生読書感想画展
作品受付：11月1日(水)～15日(水) 出品数：366点
展示期間：12月6日(水)～10日(日) 観覧入場者数：1,695人
- ・ティーンズコーナーの拡張
- ・読書通帳の発行 新規発行数347冊(再発行を除く)
- ・ナゼBAうちどくスタンプラリー 期間：11月～3月 参加者：161人

(2) 地域・学校との連携の推進

① 職業体験・図書館見学の受け入れ

職業体験やインターンシップ等で児童・生徒や学生を受け入れ、図書館の仕事や役割を体感してもらうことで、図書館の社会的役割の理解者を増やし、未来の来館者へとつなげた。

区分	人数等
YCW	米沢二中・四中 各2人
インターンシップ	置賜農業高校 1人 米沢女子短大学生 1人
中堅教諭等資質向上研修(社会体験研修)	米沢養護学校教諭 1人
小学校見学	10校(養護学校小学部含む)

② ブックトーク

内容	実績
学校等でテーマに沿った本を紹介し、学習機会の提供と支援を行うもの	0件

③ 探究型学習の支援

児童・生徒が主体的・協働的に課題解決に取り組む探究型学習について、学校と連携しながら資料提供及び資料検索方法を教えることなどを通して積極的に支援した。

内容	期日	対象
市立米沢図書館の歴史に関する調査 米沢市の労働人口と高齢化に関する調査 ほたる祭り、上杉まつり、雪灯籠まつりに関する調査	9月6日(水)	米沢四中 生徒10人

④ その他

区分	期日
米沢市小学校図書館研究部会 研修会	4月13日(木)
九里学園高等学校・読み聞かせ指導	9月8日(金)
学校司書研修会	10月20日(水)、2月5日(月)
子育て支援センターぴっころ・絵本講座	11月22日(水)

4 郷土資料を適切に保管し、次世代に伝える図書館づくり

(事業の方針)

- ・先人が残してきた貴重な郷土資料を適切に保存・管理し、デジタル情報への変換も推進しながら、地域の歴史や文化を次世代に伝える

4-1 置賜地域や上杉家に関する郷土資料の収集と調査研究

- ① 出身作家や上杉家の歴史も含めた、置賜地方の歴史を調べることができる郷土資料の収集

市立米沢図書館資料収集方針に基づき、郷土ゆかりの資料（図書、雑誌、古典籍、古文書等）を調査・収集した。

- ・「我妻栄展」開催に際し、興譲館高校・興譲小学校等の所蔵資料の調査と保存上の助言を行った。
- ・東北公益文化大学の李光貞氏らのグループによる館蔵漢籍1,230件11,600点に対する延べ1か月間の調査への協力を行った。

② 地域の歴史文化等の記録保存

消失の進む市内の神社・堂宮に関する資料、伝承、民俗の記録を残すため、郷土資料調査を行った。

4-2 郷土資料に関するレファレンスへの迅速で適切な対応

収集した郷土資料についての十分な知識を蓄積し、利用者からの質問に対して的確な資料の提供を行った。また、過去に受けたレファレンスのデータベースを作成し、類似の質問に、迅速に資料の提供ができるよう配備した。さらには、頻度の高いレファレンスについてのパスファインダー（調べ案内）を作成し、利用者が自分で資料にたどりつけるようなツールの整備を行った。

レファレンス回答	郵送複写	パスファインダー整備数
69件	28件	1件

4-3 貴重資料（古典籍・古文書）の適切な保存・管理

資料や設備・機器の更新やメンテナンスを計画的に進め、貴重書庫の環境保全に努めた。また、IPM（総合有害生物管理）活動を定着させ、館全体として収蔵・展示環境の向上を継続的に行った。

- ・毎月の定期清掃
- ・定期的な温湿度、照度測定
- ・粘着トラップの設置
- ・空気環境調査

4-4 貴重資料の整理及びデータベース化及びデジタル情報への変換作業の推進

① 貴重資料の整理・リスト化

受け入れ資料の解読、調査、ラベリングを進める。また、未受け入れ資料については、受入有無確認、クリーニング、整理、登録、ラベリング収納、写真撮影等の作業を進め、管理体制を整えた。また、特に郷土資料中の古典籍・古文書類の未整理資料及び昨年度受入資料を積極的に整理した。

- ・未整理地域資料212点を整理

② 収蔵文化財総合データベースの充実

収蔵文化財総合データベース公開の情報の充実を図るとともに、整理の完了した資料情報をリスト化し、ホームページ上での段階的に公開した。

- ・上記整理済みの地域資料の中から50点を試験的に新総合データベースに仮登録

③ 劣化資料、劣化の恐れがある資料のデジタル情報への変換

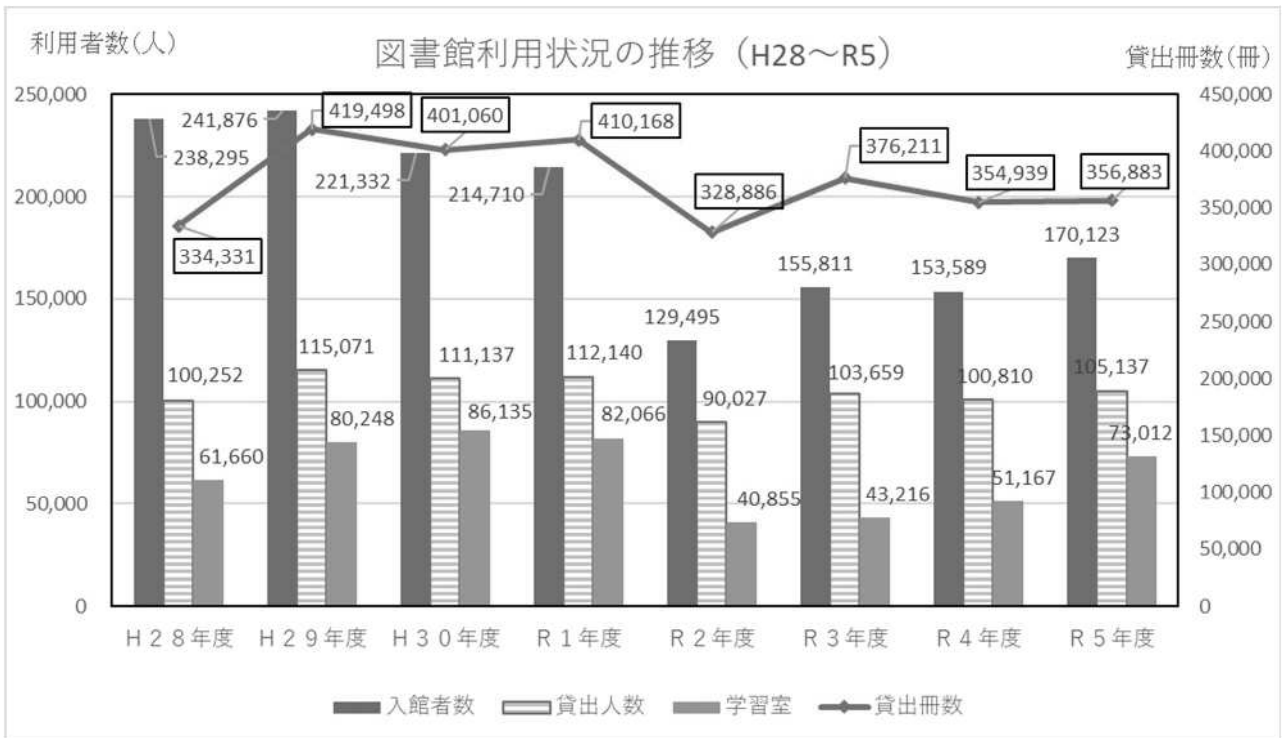
マイクロフィルム資料や地図資料等の劣化が進む資料をデジタル化し、利用者へ供した。

対象	期間等
米沢新聞	昭和43年1月～昭和57年12月
毎日新聞地方版	昭和10年1月～昭和17年12月
上杉文書（戊辰文書、勤書）	リールNo.153～158

4-5 郷土資料や貴重資料を活用した次世代に地域の歴史や文化を伝える展示

(1) 先人顕彰コーナー展示

展覧会名	展示期間
写真・新聞でたどる大橋・相生橋・住之江橋	3月24日(金)～5月24日(水) [58日間]
米沢の火縄銃 特色と訓練・命中率	5月26日(金)～7月26日(水) [62日間]
姉妹都市 沖縄市展	7月28日(金)～9月27日(水) [60日間]
没後50年 我妻榮展	9月29日(金)～11月23日(木) [55日間]
新聞記事で振り返る米坂線の九七年	11月25日(金)～12月27日(水) [27日間]
図書館の絵図展8	1月4日(木)～1月24日(水) [21日間]
写真で見る米沢のむかし part6	1月26日(金)～3月27日(水) [54日間]



よねざわ市民ギャラリー・まちなか駐車場

1 芸術・文化活動の活性化

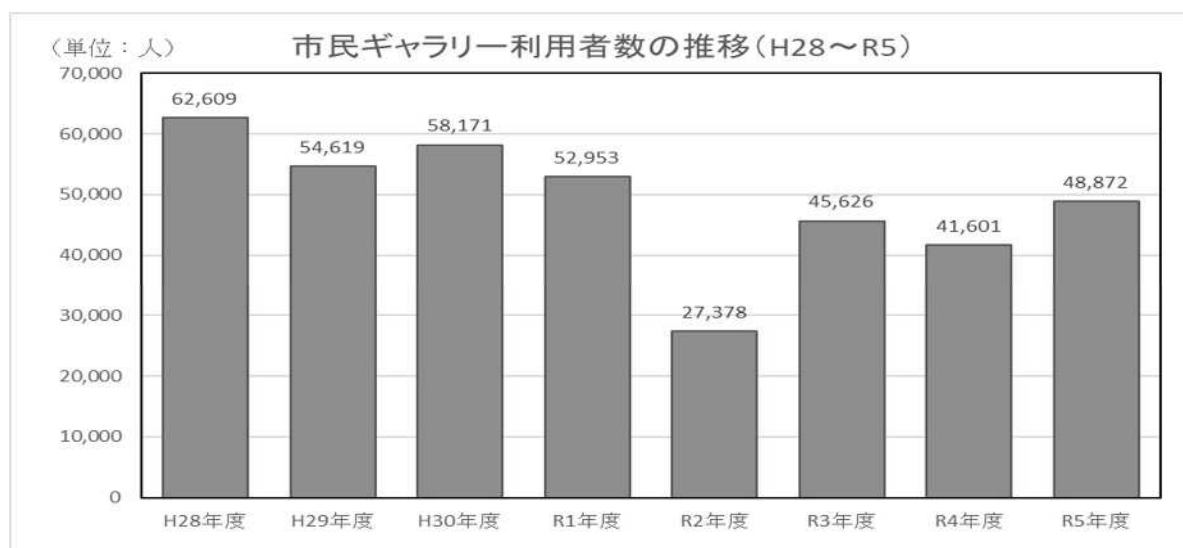
(事業の方針)

- ・様々な芸術作品等に親しむ機会が増え、市民等が潤いとゆとりを感じて心豊かに暮らせる
- ・若手芸術家をはじめとする個人や多様な活動主体による芸術文化の創作活動が、地域内で盛んになる

1-1 多様な文化・芸術活動の促進支援

(1) 貸館事業

様々な分野の作品に合わせた展示が可能である施設の機能を活かし、市民の多様な芸術文化活動の成果発表の場として、また、活気あふれる市民の芸術文化活動の拠点として施設を貸与し、地域の芸術文化の振興に寄与するよう、引き続き米沢市や関係団体と密に連携しながら適正かつ円滑な管理運営に努めた。



(2) 自主事業

市内の芸術文化団体等と連携しながら展示を行い、市民の芸術鑑賞の機会を広げた。

① 展示事業

展覧会	会期	入場者数
福王寺一彦 高野山金剛峯寺 襖絵第一回奉納記念 いのりのとき	4月15日(土)～ 4月28日(金) [14日間]	2,456人
植物学者 清水大典～冬虫夏草と山をめぐる冒険～	8月11日(金)～ 9月3日(日) [23日間]	2,140人
ARTS MEET OKITAMA 2024 & AMO2023 大賞展	3月9日(土)～ 3月19日(火) [11日間]	2,000人

・オープンギャラリー展示 [いずれも開催日数90日間]

展示名	期間
第1期「木地の力 栗林一雪の創作こけし」	4月28日(金)～7月26日(水)
第2期「アートするところ 後藤克芳のN.Y.」	7月28日(金)～10月25日(水)
第3期「彫刻の魅力 木彫と塑像」	10月27日(金)～1月24日(水)
第4期「椿貞雄と米沢の画家たち①没後50年土田文雄」	1月26日(金)～4月24日(水)

② ウッディコンサート

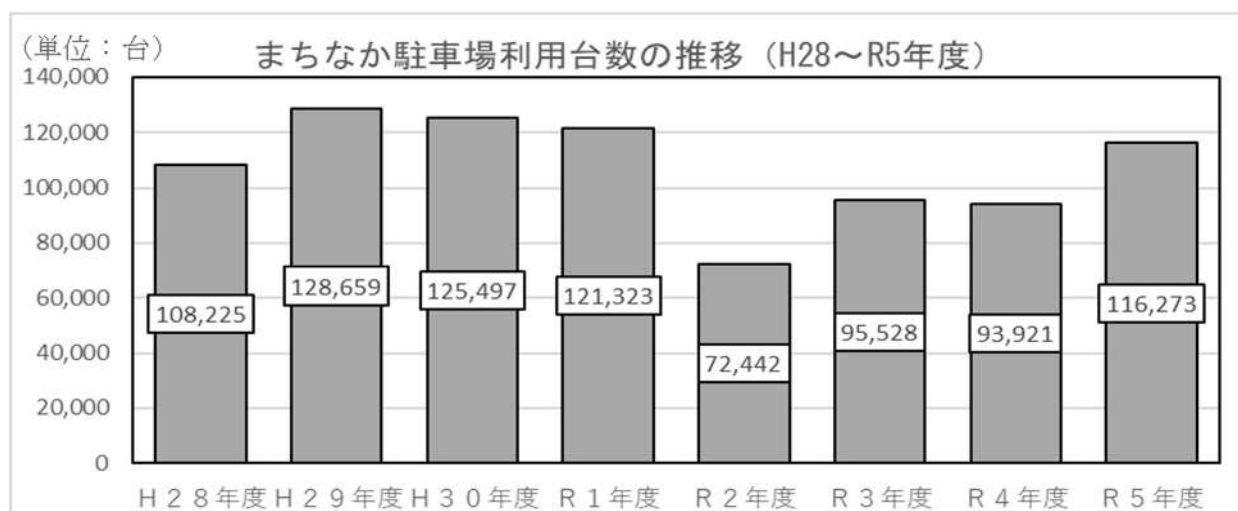
図書館休館日（第4木曜日）にギャラリー展示室内でミニコンサートを開催し、中心市街地の活性化につなげた。

・年間5回程度開催

回	出演	期 日	入場者数
第33回	「福王寺一彦」襖絵展に寄せて 福田直樹（チェンバロ）、対談「美術と音楽」	4月27日	121人
第34回	「興譲館高校美術部展」に寄せて 興譲館高校吹奏楽研究クラブ（吹奏楽と声楽のアンサンブル）	5月25日	79人
第35回	「よねざわ女流作家展ファイナル」に寄せて 齋藤耕基（チューバ）、皆川あゆみ（ピアノ）	6月22日	61人
第36回	「植物学者清水大輔」展に寄せて 大澤知代（サクソ）、小坂春日（ピアノ）	8月24日	46人
第37回	「かなを書く」書道展に寄せて 樋渡彩（クラリネット）、長岡茉紘（ピアノ）	9月28日	39人

1-2 米沢市まちなか駐車場

米沢市や関係団体と密に連携して、適正かつ円滑な管理運営に努めた。



連携と協働による事業の推進と適正な組織運営

1 市民や地域の力を繋ぎ活かした事業の推進

(事業の方針)

- ・市の文化及び観光交流の拠点である上杉文化エリア（伝国の杜周辺区域）内の施設・団体やまちづくりネットワークなどと連携して各施設周辺の賑わいと活力の創出に寄与する
- ・市民等の知識や経験を活かして各施設のサービスを充実する
- ・事業や施設の運営に多くの人々が関わり、協力してもらう
- ・利用者の声を広く集める仕組みを整え、利用者の声を反映した運営を行う
- ・各施設の機能の向上と発揮に努めながら、施設相互が連携して新たな発想や手法による事業を実施する

1-1 サポーター運営事業

市民の活力を取り入れた活発な事業運営を目指し、一般市民がそれぞれの興味・関心・得意分野を活かして当財団事業に参加することができるようボランティア活動の場を提供した。

伝国の杜と図書館それぞれに「伝国の杜サポーター」と「市立米沢図書館サポーター」による活動のほか、サポーター通信の発行、研修や勉強会等を実施した。

(1) 伝国の杜サポーター運営事業

米沢市上杉博物館の洛中洛外図案内等の資料解説や教育普及活動、図書整理、置賜文化ホールの諸事業における客席案内、広報物発送補助等を行った。

サポーター登録者数	28人
主な活動内容	インフォメーション、広報発送、レセプション、教育普及、図書整理、洛中洛外図案内

(2) 市立米沢図書館サポーター運営事業

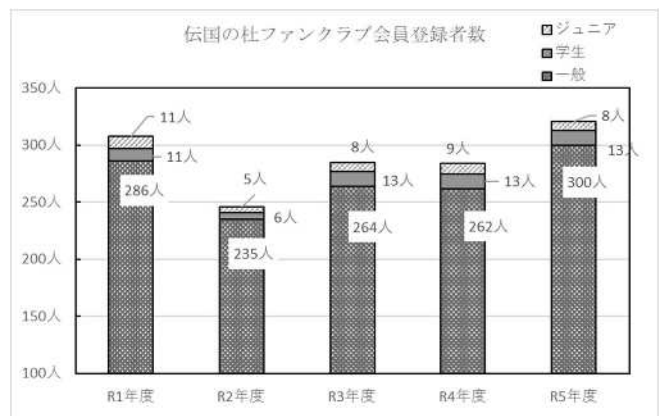
図書修理のほか、毎月のおはなしかいでの読み聞かせ、ワークショップなどのイベントの補助、郷土資料の整理（マイクロフィルムのデジタル化）などの活動を行った。

サポーター登録者数	39人
主な活動内容	読み聞かせ、本の修理、マイクロスキニング

1-2 ファンクラブ運営事業（収益等事業3）

米沢市上杉博物館と置賜文化ホールの利用や財団事業への参加を通し、会員の興味・関心に応えるとともに、相互の親睦を図り、伝国の杜を支えるコアを育てた。

今年度も継続してPRと特典の充実の検討を行うなどにより、会員の定着を目指し、会員の募集を行った結果、目標を上回る321人（内訳 一般 300人 学生 13人 ジュニア 8人）の登録があった。



1-3 関係機関等との連携の推進

(1) 米沢市歴史文化拠点地区内の諸団体等との連携の推進

上杉文化エリア懇話会や上杉文化施設協議会のほか、米沢四季のまつり実行委員会等と連携し、本市が誇る歴史、文化、観光の交流拠点である伝国の杜周辺地区の魅力向上と集客促進を図った。

上杉文化エリア関係	定例会、周辺エリアの環境整備活動
上杉文化施設協議会関係	米沢観るパス（利用期間4月～11月） 利用人数986人 まちナビカード（道の駅米沢に設置） 利用人数772人
米沢四季のまつり関係	上杉まつり、秋まつりの各実行委員会への参画、関連催事の実施（企画展示）、広告掲載

(2) 米沢市中心市街地活性化協議会等と連携したにぎわいづくりへの貢献

ナセBAの「こまや」を活用した地元商店街や各種団体のにぎわい創出事業等への協力を行った。

1-4 施設相互の連携

伝国の杜とナセBAそれぞれの施設の使命や役割を果たしながら、両施設を行き来できる事業を検討した。

また、施設相互にポスター掲示や特集コーナーの設置を行うほか、各施設と関係機関との連携強化や情報交換を積極的に行い、十分な市民サービスを提供できるように努めた。

（連携事業）

博物館と座の文化伝承館との連携展示	座の文化伝承館自主事業「もっと楽しむ 国絵図の世界～近づく、比べる、くっつける～」と博物館特別展「上杉氏と国絵図の世界」との連携企画 期間：令和5年9月13日（水）～9月25日（月）
博物館における図書館カード利用割引	11件
博物館とホール事業の連携	山形県高等学校総合文化祭参加生徒の博物館見学時の減免措置 256人

2 公益財団法人としての適正な組織運営と安全安心で開かれた施設利用

（事業の方針）

- ・ 公共施設であることを念頭に、経営基盤の安定と利用者及び収入の確保に努める
- ・ 内部評価や外部評価に取り組み、運営やサービスの改善に努める
- ・ 事業の目的と方法の明確化及び職員間の共通理解を図り、業務の無駄を無くす
- ・ 利用者と職員の安心・安全を第一に、施設設備の保守及び危機管理に取り組む
- ・ 新型コロナウイルス感染症の感染予防対策をはじめとする危機管理体制を維持し、利用者や職員が安心して利用や事業参加ができる環境をつくる

2-1 収入の確保

(1) ショップ運営事業（収益等事業1）

財団運営及び事業展開の安定化の財源を確保するほか、利用者サービスの充実のため、米沢市上杉博物館のミュージアムショップ及びネットショップにおいて、博物館で編集・発行する展覧会図録を

はじめ自主製作商品や受託商品の物品販売を行った。

- ・新商品の開発（令和6年度販売開始 なせばなるボールペン）
- ・新商品の販売（令和4年度製作 直江状写マスクングテープ）
- ・新規図録の刊行（『上杉景勝と関ヶ原合戦』、『今泉篤男と美術』、『上杉氏と国絵図の世界』）

(2) 事業告知、情報発信による施設利用の促進

広報物や出版物の発行、インターネットにおける情報発信等を実施し、施設の事業活動を協力者や市民に対して紹介し、施設の利用促進を促した。

区分	博物館	ホール	図書館	ギャラリー
X（旧ツイッター）発信件数	約290 内約50shop	約170	195	49
LINE（米沢市）発信件数	2	5	12	0
雑誌等への有料 広告掲出件数	17	2	0	3
テレビCM	1	1	0	0
その他	各種旅行誌 各種タウン誌等 （多数）	Instagram EventBank 月刊ぶらあぼ あづま〜る 山形新聞（チケット 発売情報）	ウェブ掲載2 （東北電力 お でcafé・山形県生 涯学習センター やまがたマナビ イnet	13（Facebook） 7（Instagram）

2-2 施設の維持改修等

(1) 市と連携した修繕等の実施

指定管理を受けている施設について、管理者である米沢市との連絡を密にしながら施設や機器の修繕・更新等の計画を進めた。

（実績）※軽微なものは省略

米沢市上杉博物館 置賜文化ホール	<ul style="list-style-type: none"> ・常設展示室「体験！鉄砲足軽組」修理 ・高所作業車バッテリー交換 ・冷水器点検整備 ・博物館展示ケース修繕 ・博物館展示台修繕 ・トイレウォシュレット修繕 ・コインロッカーケーシング交換及び扉修繕
米沢市座の文化伝承館	<ul style="list-style-type: none"> ・西側外塀瓦修繕
市立米沢図書館 よねざわ市民ギャラリー 米沢市まちなか駐車場	<ul style="list-style-type: none"> ・冷水器点検整備 ・図書館防犯カメラ交換 ・図書館貴重書庫用設備用エアコンファンベルト交換 ・まちなか駐車場ジャーナルプリンター修繕 ・まちなか駐車場トイレウォシュレット修繕

2-3 運営組織体制の維持・向上

(1) 法律等に基づいた適正な組織運営と情報公開による運営の透明化

① 役員会の開催

法に基づき理事会等を開催し、公益財団法人としての適正な運営に努めた。

区分	日時・場所・決議事項
通常理事会	日時・場所：令和5年5月23日（火）、伝国の杜 小会議室（2階） 報告事項：理事長及び常務理事の職務執行状況 決議事項：令和4年度事業報告及び附属明細書及び計算書類の承認 他4件
	日時・場所：令和6年3月22日（金）、伝国の杜 小会議室（2階） 報告事項：理事長及び常務理事の職務執行状況 決議事項：令和5年度事業計画の承認 他8件
臨時理事会	日時・場所：令和5年6月17日（土）、伝国の杜 小会議室（2階） 決議事項：副理事長の選定
定時評議員会	日時・場所：令和5年6月17日（土）、伝国の杜 大会議室（2階） 報告事項：令和4年度事業報告 決議事項：令和4年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録の承認 他3件

② 情報公開の推進

経営状況等の情報公開を適正に行い、開かれた財団運営に務めた。

(2) 評価の実施

① 内部評価

年間の事業計画で掲げた目的や目標の達成状況について、KPI指標を基に評価を行ったほか、博物館の企画展・特別展や置賜文化ホール等の事業について実施後に点検評価を行った。

② 外部評価

- ・博物館の展示及び置賜文化ホールの自主事業に対する来館者アンケートの実施
- ・伝国の杜運営協議会の開催（年2回）
- ・ナセBA運営協議会の開催（年2回）

(3) スタッフの育成

① 講習会・勉強会の開催、研修への派遣

新規採用者研修や職員の定期的な勉強会や研修会を実施するとともに、外部研修等へも積極的に派遣し、スタッフとしての知識の習得や技能の向上を図った。

(4) 全ての職員が働きやすい職場づくり

① 危機管理に関すること

- ・避難訓練の実施（年2回）
- ・救命救急講習会等への派遣
- ・危機管理マニュアルの整備と内部周知

② 職員の労働環境に関すること

「働き方改革」の施行に合わせて整備した財団諸規程を遵守し、また社会情勢の変化やワーク・ライフ・バランスの視点を踏まえながら、職員の適正な労働環境を整えた。

- ・メンタルヘルスセミナーの実施（ナセBA）